

2022(令和4)年度調査研究報告

2022(令和4)年度 修学旅行の実施状況並びに 「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について

関東地区・東海地区・近畿地区
各修学旅行委員会 集計・比較・考察

調査時期:2022(令和4)年7月～2022(令和4)年12月

〔本調査は上記の期間に実施したため、実際の実施状況とは異なる部分があります。〕

2023(令和5)年2月 発行

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

目 次

1 調査研究のねらいと概要	1
(1) 調査研究のねらい	1
(2) 調査の概要	1
① 調査対象	
② 調査時期	
③ 調査内容	
④ 調査・集計方法	
2 2022(令和4)年度の修学旅行について	2
(1) 回答状況	2
(2) 実施概況	2
① 2022(令和4)年度の修学旅行について	2
② 実施時期	3
③ 実施期間	5
④ 実施学年	5
⑤ 実施方面	5
⑥ 都道府県別宿泊地	7
⑦ 生徒一人あたりの方面別旅行費用平均額	13
⑧ 生徒一人あたりの旅行費用分布	13
⑨ 生徒一人あたりの交通費分布	13
⑩ 生徒一人あたりの貸切バス代分布	14
⑪ 生徒一人あたりの宿泊費分布	14
⑫ 生徒一人あたりの体験費分布	14
⑬ 生徒一人あたりの保険料分布	15
⑭ 小遣い上限平均額	15
⑮ 加入した保険の内容	15
⑯ 旅行方面別費用内訳平均額	16
⑰ 不参加生徒について	17
(3) これからの修学旅行について	18
① これからの修学旅行の実施にあたって検討が必要と考えていること	18
② 検討の内容	18
③ 修学旅行の活動内容について知りたい情報	18
(4) 2021(令和3)年度の修学旅行について	19
(5) 2022(令和4)年度の修学旅行について(自由記述)	20
3 まとめ	27

1 調査研究のねらいと概要

(1) 調査研究のねらい

1958(昭和33)年10月1日の中学校学習指導要領告示により、修学旅行の教育課程への位置付けが明確にされてから半世紀あまり、またもや修学旅行は新たな試練に遭遇した。

2020(令和2)年初頭、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、いわゆるパンデミックが世界中に広がった。日常生活はもとより、修学旅行も次々と延期・中止などの判断を余儀なくされた。

しかしながら、文部科学省は2020(令和2)年3月24日付事務次官通知で「修学旅行については、その教育的意義や児童生徒の心情等にも配慮いただき、当面の措置として取り止める場合においても、中止ではなく延期扱いとすることを検討いただくなどの配慮をお願いしたい」という方針を表明し、今現在もその姿勢は一貫して続いている。これは日本の学校教育において修学旅行が有する高い教育的価値を十二分に認めている証左である。

そのような状況下、本2022(令和4)年度も修学旅行の実施状況調査を実施した。

コロナ禍以前では、通常、三地区(関東、東海、近畿)の修学旅行がほぼ終了する7月に調査を実施し、基本的な調査項目として実施時期、日数、方面、訪問地、旅行費用、体験活動費用、不参加生徒数について集計・考察を行ってきた。旅行費用や不参加生徒数についてはそのデータが直接修学旅行に関わる国庫補助金の陳情にも関係していることから、1959(昭和34)年以来、地道に調査を継続してきた。

しかしながら、コロナ禍により修学旅行の実施時期が当年度の秋冬にまで延期が及んだ一昨年度、及び昨年度の状況から推して、敢えて調査の実施時期を12月下旬まで遅らせ、より実態に近い実施状況の把握を行うこととした。

ここ数年の状況を見てみると、災害の形や事故・事件等の発生は多岐にわたり、これまでの経験や知識だけでは十分対応できない事象も増えてきている。今回のコロナ禍では修学旅行実施における様々な課題がより鮮明となった。

今後も地道な調査と分析・研究を進めながら、これからの時代に求められる修学旅行の、その環境づくりの一助となればと願っている。

(2) 調査の概要

- ①調査対象 以下の三地区の公立中学校を対象
・ 関東地区 5 県 (茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)
・ 東海地区 3 県 (愛知・三重・岐阜) ※愛知県は名古屋市を除く
・ 近畿地区 2 府 3 県 (滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫)
※今年度より和歌山県は調査対象から除く
- ②調査時期 2022(令和4)年7月～2022(令和4)年12月
※2022(令和4年)12月以降に実施予定の学校については回答時点での予定を調査
- ③調査内容 実施時期・実施期間・実施方面・旅行費用・不参加生徒等
これからの修学旅行について
- ④調査・集計方法
- ・ 関東地区・近畿地区はオンラインで調査・回答
 - ・ 東海地区は調査用紙を配布し、オンラインで回答
 - ・ (2)実施概況 以降は集計対象校数を基準として算出した
 - ・ 表中の「割合」については小数点第二位以下四捨五入しているため表示上の割合の合計が100%とならないものもある
 - ・ 特別支援学校及び高等学校附属中学校は独自性があるため集計対象外とした
 - ・ 旅行方面が複数にまたがる場合は、より遠い地区となる1泊目の宿泊地を基準として実施方面を集計した
 - ・ 諸費用(交通費・宿泊費・体験費等)の平均額算出については③実施期間の校数を母数として用いているため項目毎に異なる

2 2022(令和4)年度の修学旅行について

(1) 回答状況

	(校)			
	関東	東海	近畿	合計
調査校数	1,304	627	1,146	3,077
回答校数	1,304	627	1,089	3,020
回答率	100.0%	100.0%	95.0%	98.1%
集計対象校数	1,304	627	1,073	3,004

各地区の詳細

〈関東地区〉

(校)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	216	152	158	413	365	1,304
回答校数	216	152	158	413	365	1,304
回答率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

〈東海地区〉

(校)

	愛知	岐阜	三重	合計
調査校数	302	176	149	627
回答校数	302	176	149	627
回答率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※愛知県は尾張・三河地区のみ

〈近畿地区〉

(校)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計
調査校数	454	335	162	95	100	1,146
回答校数	444	334	162	63	86	1,089
回答率	97.8%	99.7%	100.0%	66.3%	86.0%	95.0%

(2) 実施概況

① 2022(令和4)年度の修学旅行について(複数回答)

(校)

	関東	東海	近畿	合計
予定通り実施	1,164	383	646	2,193
期日方面等を変更して実施	138	293	427	858
中止	0	0	0	0
当初から予定なし	2	-	-	2

- 予定通り実施した学校が格段に増え、中止した学校は0となった。
- 関東地区では、コロナ禍前の行先方面(近畿方面中心)にはほぼ戻ったが、一部、少数ではあるが、他方面に行先を変更する学校もみられた。(東北、関東、甲信越、北陸方面等へ)
- 東海地区、近畿地区では、コロナ禍前の行先方面から変更して実施した学校の割合が高くなった。
 - (東海地区)
関東方面⇒甲信越、東海、近畿方面等へ
 - (近畿地区)
関東、沖縄方面⇒甲信越、東海、近畿、九州方面等へ

② 実施時期(校数とその割合)

(校・%)

三地区	関東	東海	近畿	合計	割合
4月	40	8	81	129	4.3%
5月	435	222	511	1,168	38.9%
6月	499	258	325	1,082	36.0%
7月	89	9	22	120	4.0%
8月	1	2	14	17	0.6%
9月	116	70	77	263	8.8%
10月	34	40	32	106	3.5%
11月	19	9	5	33	1.1%
12月	35	0	2	37	1.2%
1月	13	0	1	14	0.5%
2月	21	0	1	22	0.7%
3月	0	0	2	2	0.1%
来年度以降予定		4	0	4	0.1%
実施予定なし	2	5	0	7	0.2%
合計校数	1,304	627	1,073	3,004	100.0%

〈関東地区〉

(校・%)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	21	16		1	2	40	3.1%
5月	96	12	54	78	195	435	33.4%
6月	55	94	80	155	115	499	38.3%
7月	1	5		83		89	6.8%
8月			1			1	0.1%
9月	27	17	11	29	32	116	8.9%
10月	4	1	10	1	18	34	2.6%
11月	10	6			3	19	1.5%
12月	2		1	32		35	2.7%
1月				13		13	1.0%
2月				21		21	1.6%
3月						0	0.0%
実施予定なし		1	1			2	0.2%
合計校数	216	152	158	413	365	1,304	100.0%

〈東海地区〉

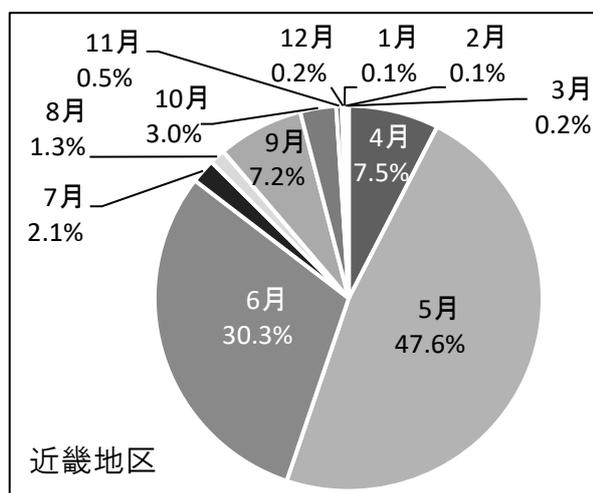
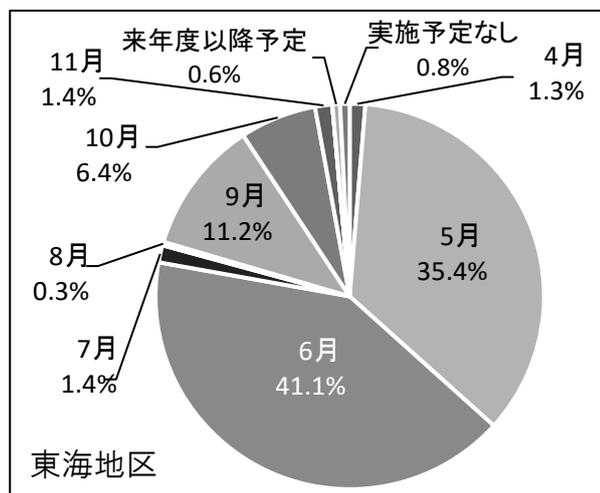
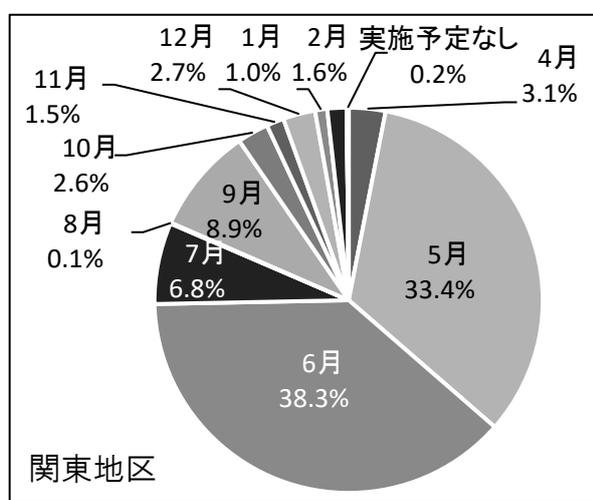
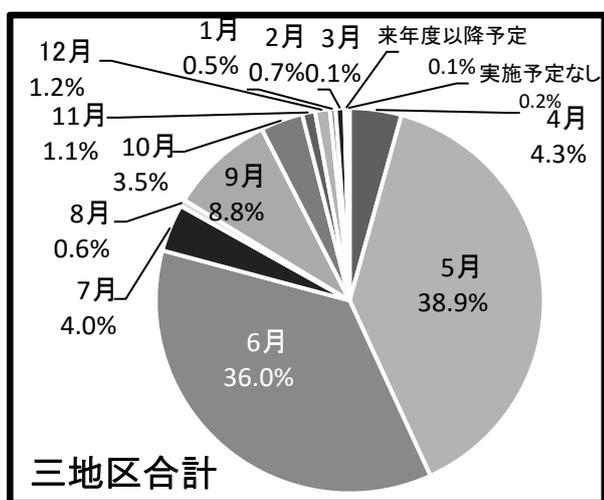
(校・%)

	愛知	岐阜	三重	合計	割合
4月			8	8	1.3%
5月	109	50	63	222	35.4%
6月	172	41	45	258	41.1%
7月	4	2	3	9	1.4%
8月	1	1		2	0.3%
9月	11	49	10	70	11.2%
10月	2	28	10	40	6.4%
11月	2	4	3	9	1.4%
12月				0	0.0%
1月				0	0.0%
2月				0	0.0%
3月				0	0.0%
来年度以降予定			4	4	0.6%
実施予定なし	1	1	3	5	0.8%
合計校数	302	176	149	627	100.0%

〈近畿地区〉

(校・%)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計	割合
4月	7	42	11	19	2	81	7.5%
5月	199	181	93	5	33	511	47.6%
6月	182	57	35	30	21	325	30.3%
7月	11	1	2	2	6	22	2.1%
8月	2	2	2		8	14	1.3%
9月	24	33	10	2	8	77	7.2%
10月	8	10	5	4	5	32	3.0%
11月		2	2	1		5	0.5%
12月	2					2	0.2%
1月		1				1	0.1%
2月			1			1	0.1%
3月		1	1			2	0.2%
来年度以降予定						0	0.0%
未定・未記入						0	0.0%
合計校数	435	330	162	63	83	1,073	100.0%



○関東・東海・近畿地区ともに春季(4月～7月)に実施した学校の割合が高くなり、コロナ禍前の実施時期傾向にほぼ戻った。

○但し、前年度中に夏秋以降に延期を実施した学校が一定数発生した。
これは、前年度1月～3月に発生したコロナ第6波の影響を受け、その直後の春季実施に懸念を抱き、実施延期を早々に決定した学校が相当数あったものと推察される。

③実施期間

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
日帰り		1	1	2	0.1%
1泊2日	49	32	86	167	5.6%
2泊3日	1,251	584	980	2,815	93.7%
3泊以上	2		6	8	0.3%
実施なし/未記入	2	10		12	0.4%
合計校数	1,304	627	1,073	3,004	100.0%

④実施学年

(校・%)

	関東	東海	近畿	合計	割合
3年生	1,228	606	-	1,834	95.0%
2年生	68	8	-	76	3.9%
複数学年	6	3	-	9	0.5%
実施なし/未記入	2	10	-	12	0.6%
合計校数	1,304	627	-	1,931	100.0%

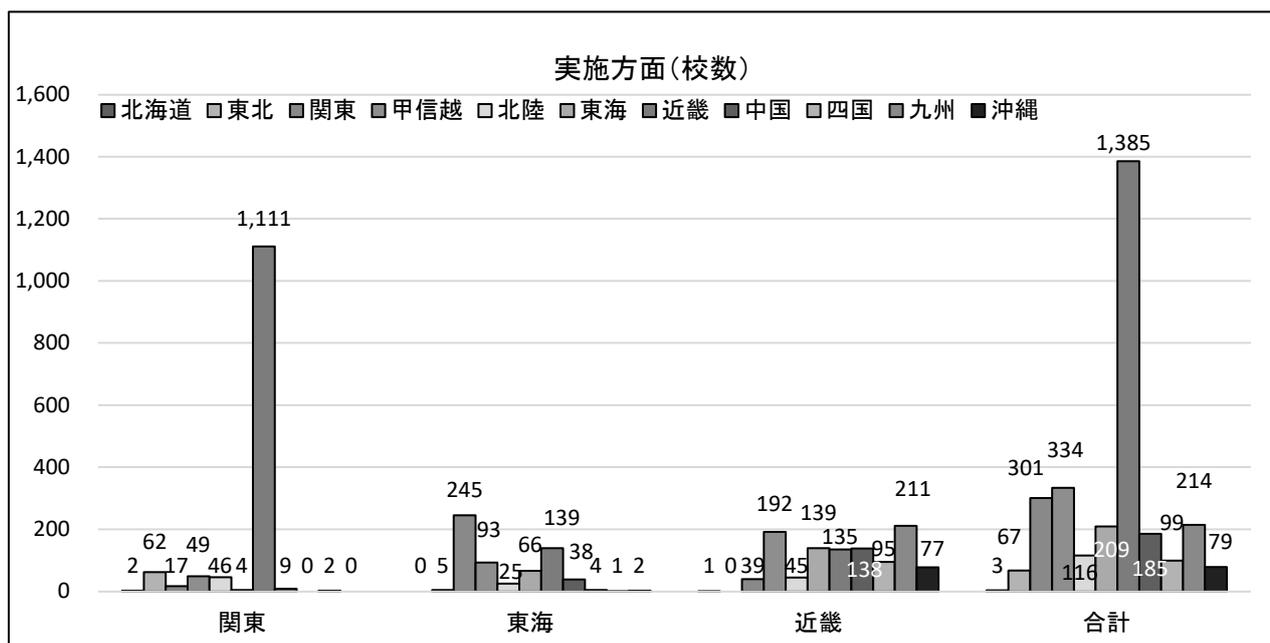
※近畿地区は調査していない

⑤実施方面

(校・%)

方面	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道	2	0	1	3	0.1%
東北	62	5	0	67	2.2%
関東	17	245	39	301	10.0%
甲信越	49	93	192	334	11.1%
北陸	46	25	45	116	3.9%
東海	4	66	139	209	7.0%
近畿	1,111	139	135	1,385	46.1%
中国	9	38	138	185	6.2%
四国	0	4	95	99	3.3%
九州	2	1	211	214	7.1%
沖縄	0	2	77	79	2.6%
実施なし/未記入	2	9	1	12	0.4%
合計校数	1,304	627	1,073	3,004	100.0%

※実施方面は、「6.都道府県別宿泊地」の区分を基準とした
実施方面が複数にまたがる場合は1泊目の宿泊地を適用した



〈関東地区〉

(校・%)

方面	県名	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
北海道					2		2	0.2%
東北		5	11	5	2	39	62	4.8%
関東		5		2		10	17	1.3%
甲信越		1	1	5	1	41	49	3.8%
北陸			1	25	3	17	46	3.5%
東海		1	1	1		1	4	0.3%
近畿		204	136	114	403	254	1,111	85.2%
中国			1	3	2	3	9	0.7%
四国							0	0.0%
九州				2			2	0.2%
沖縄							0	0.0%
実施なし/未記入			1	1			2	0.2%
合計校数		216	152	158	413	365	1,304	100.0%

〈東海地区〉

(校・%)

方面	県名	愛知	岐阜	三重	合計	割合
北海道					0	0.0%
東北		5			5	0.8%
関東		199	35	11	245	39.1%
甲信越		49	17	27	93	14.8%
北陸		11	9	5	25	4.0%
東海		22	18	26	66	10.5%
近畿		14	77	48	139	22.2%
中国		1	17	20	38	6.1%
四国				4	4	0.6%
九州				1	1	0.2%
沖縄				2	2	0.3%
実施なし/未記入		1	3	5	9	1.4%
合計校数		302	176	149	627	100.0%

〈近畿地区〉

(校・%)

方面	府県名	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計	割合
北海道		1					1	0.1%
東北							0	0.0%
関東		5	29	2	3		39	3.6%
甲信越		89	24	49	17	13	192	17.9%
北陸		21	10	5	1	8	45	4.2%
東海		76	52	4	1	6	139	13.0%
近畿		30	61	8	15	21	135	12.6%
中国		62	15	39	12	10	138	12.9%
四国		39	19	11	9	17	95	8.9%
九州		66	105	35	3	2	211	19.7%
沖縄		46	14	9	2	6	77	7.2%
実施なし/未記入			1				1	0.1%
合計校数		435	330	162	63	83	1,073	100.0%

⑥都道府県別宿泊地

〈関東地区〉
宿泊校数

(校)

方面	宿 泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道				2		2				2		2
東北	青森												0
	岩手	1				1	2	1				2	3
	宮城	3	9	5	2	2	21	1	7		2	1	11
	秋田												0
	山形					1	1					1	1
	福島	1	2			35	38		2	1		36	39
	小 計	5	11	5	2	39	62	2	9	1	2	40	54
関東	茨城												0
	栃木			1		6	7					2	2
	群馬												0
	埼玉												0
	千葉	2		1		4	7					1	1
	東京												0
	神奈川	3					3	1					1
	小 計	5	0	2	0	10	17	1	0	0	0	3	4
甲信越	山梨	1		5	1	4	11				1	4	5
	新潟											4	4
	長野		1			37	38		1			32	33
	小 計	1	1	5	1	41	49	0	1	0	1	40	42
北陸	富山					2	2		1			2	3
	石川		1	23	3	14	41		1	9	3	14	27
	福井			2		1	3						0
	小 計	0	1	25	3	17	46	0	2	9	3	16	30
東海	岐阜		1	1		1	3					2	2
	静岡	1					1						0
	愛知												0
	三重												0
	小 計	1	1	1	0	1	4	0	0	0	0	2	2
近畿	滋賀	1	1	2	6	10	20	1	1	2	3	10	17
	京都	188	122	110	382	231	1,033	198	133	115	392	239	1,077
	大阪	2	6		2	3	13					1	1
	兵庫					1	1					1	1
	奈良	13	7	2	13	9	44	5	3		8	3	19
	和歌山												0
	小 計	204	136	114	403	254	1,111	204	137	117	403	254	1,115
中国	鳥取												0
	島根												0
	岡山					1	1						0
	広島		1	3	2	2	8					2	2
	山口												0
	小 計	0	1	3	2	3	9	0	0	0	0	2	2
四国	徳島												0
	香川												0
	愛媛												0
	高知												0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡												0
	佐賀												0
	長崎			2			2			2			2
	熊本												0
	大分												0
	宮崎												0
	鹿児島												0
	小 計	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
沖縄	沖縄						0						0
	合 計	216	151	155	413	365	1,302	207	149	129	411	357	1,253

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	
北海道	北海道				208		208				208		208
東北	青森												0
	岩手	123				140	263	123				269	392
	宮城	308	1,316	470	457	205	2,756	165	1,041		457	76	1,739
	秋田												0
	山形					279	279					279	279
	福島	102	222			3,698	4,022		222	162		3,763	4,147
	小計	533	1,538	470	457	4,322	7,320	288	1,263	162	457	4,387	6,557
関東	茨城												0
	栃木			172		383	555					171	171
	群馬												0
	埼玉												0
	千葉	189		54		570	813					17	17
	東京												0
	神奈川	218					218	53					53
	小計	407	0	226	0	953	1,586	53	0	0	0	188	241
甲信越	山梨	58		693	79	336	1,166				79	336	415
	新潟											595	595
	長野		89			5,471	5,560		89			4,733	4,822
	小計	58	89	693	79	5,807	6,726	0	89	0	79	5,664	5,832
北陸	富山					327	327		53			327	380
	石川		166	2,818	288	1,568	4,840		166	842	288	1,568	2,864
	福井			149		66	215						0
	小計	0	166	2,967	288	1,961	5,382	0	219	842	288	1,895	3,244
東海	岐阜		53	136		168	357					311	311
	静岡	53					53						0
	愛知												0
	三重												0
	小計	53	53	136	0	168	410	0	0	0	0	311	311
近畿	滋賀	138	79	362	954	1,310	2,843	138	79	362	517	1,310	2,406
	京都	19,652	12,401	10,877	53,534	30,847	127,311	20,749	13,727	11,284	54,524	32,189	132,473
	大阪	143	856		309	421	1,729					107	107
	兵庫					82	82					81	81
	奈良	1,433	689	150	1,351	1,093	4,716	479	231		1,027	230	1,967
	和歌山												0
	小計	21,366	14,025	11,389	56,148	33,753	136,681	21,366	14,037	11,646	56,068	33,917	137,034
中国	鳥取												0
	島根												0
	岡山					34	34						0
	広島		12	257	204	223	696					83	83
	山口												0
	小計	0	12	257	204	257	730	0	0	0	0	83	83
四国	徳島												0
	香川												0
	愛媛												0
	高知												0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡												0
	佐賀												0
	長崎			10			10		10				10
	熊本												0
	大分												0
	宮崎												0
	鹿児島												0
	小計	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	10
沖縄	沖縄						0						0
	合計	22,417	15,883	16,138	57,384	47,221	159,053	21,707	15,608	12,650	57,100	46,445	153,520

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

〈東海地区〉
宿泊校数

(校)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道				0				0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城				0				0
	秋田				0				0
	山形	5			5				0
	福島				0				0
	小計	5	0	0	5	0	0	0	0
関東	茨城				0	1			1
	栃木	6			6	1			1
	群馬				0	1			1
	埼玉				0				0
	千葉	127	12	7	146	122	12	7	141
	東京	52	23	3	78	40	22	3	65
	神奈川	14		1	15	13		1	14
	小計	199	35	11	245	178	34	11	223
甲信越	山梨	45	15	27	87	50	19	24	93
	新潟				0				0
	長野	4	2		6	9	1	1	11
		小計	49	17	27	93	59	20	25
北陸	富山	2			2		1	1	2
	石川	6	7	5	18	7	7	3	17
	福井	3	2		5	1	1		2
		小計	11	9	5	25	8	9	4
東海	岐阜	1	2	3	6		3	2	5
	静岡	13	4	3	20	24	1	3	28
	愛知			3	3			2	2
	三重	8	12	17	37	9	11	23	43
		小計	22	18	26	66	33	15	30
近畿	滋賀	1	6		7		4		4
	京都	2		2	4				0
	大阪	5	34	2	41	8	42	8	58
	兵庫	5	37	17	59	2	30	29	61
	奈良				0				0
	和歌山	1		27	28	1		20	21
	小計	14	77	48	139	11	76	57	144
中国	鳥取				0				0
	島根	1			1	1			1
	岡山			7	7		1	2	3
	広島		17	13	30		2	2	4
	山口				0				0
	小計	1	17	20	38	1	3	4	8
四国	徳島			1	1			3	3
	香川			2	2				0
	愛媛			1	1				0
	高知				0				0
		小計	0	0	4	4	0	0	3
九州	福岡				0				0
	佐賀				0				0
	長崎			1	1			1	1
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
	鹿児島				0				0
	小計	0	0	1	1	0	0	4	4
沖縄	沖縄			2	2				0
	合計	301	173	143	618	290	157	134	585

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	県名 宿泊 都道府県	一泊目			一泊目 合計	二泊目			二泊目 合計
		愛知	岐阜	三重		愛知	岐阜	三重	
北海道	北海道				0				0
東北	青森				0				0
	岩手				0				0
	宮城				0				0
	秋田				0				0
	山形	916			916				0
	福島				0				0
	小計	916	0	0	916	0	0	0	0
関東	茨城				0	171			171
	栃木	576			576	156			156
	群馬				0	58			58
	埼玉				0				0
	千葉	21,743	1,166	651	23,560	19,835	1,080	701	21,616
	東京	7,576	1,253	312	9,141	5,694	1,150	312	7,156
	神奈川	1,732		27	1,759	1,350		27	1,377
	小計	31,627	2,419	990	35,036	27,264	2,230	1,040	30,534
甲信越	山梨	7,705	1,944	3,105	12,754	8,534	2,310	2,834	13,678
	新潟				0				0
	長野	642	18		660	1,369	11	143	1,523
	小計	8,347	1,962	3,105	13,414	9,903	2,321	2,977	15,201
北陸	富山	314			314		61	191	252
	石川	1,057	630	580	2,267	1,122	547	366	2,035
	福井	259	109		368	53	142		195
	小計	1,630	739	580	2,949	1,175	750	557	2,482
東海	岐阜	65	45	184	294		154	161	315
	静岡	1,515	236	386	2,137	4,576	38	268	4,882
	愛知			45	45			45	45
	三重	1,563	1,020	1,908	4,491	1,678	829	2,336	4,843
	小計	3,143	1,301	2,523	6,967	6,254	1,021	2,810	10,085
近畿	滋賀	122	535		657		242		242
	京都	50		51	101				0
	大阪	631	3,980	270	4,881	1,050	3,159	828	5,037
	兵庫	760	3,878	1,895	6,533	247	3,370	2,852	6,469
	奈良				0				0
	和歌山	210		2,166	2,376	210		1,437	1,647
	小計	1,773	8,393	4,382	14,548	1,507	6,771	5,117	13,395
中国	鳥取				0				0
	島根	228			228	228			228
	岡山			404	404		90	178	268
	広島		1,434	1,219	2,653		315	52	367
	山口				0				0
	小計	228	1,434	1,623	3,285	228	405	230	863
四国	徳島			100	100			121	121
	香川			85	85				0
	愛媛			110	110				0
	高知				0				0
	小計	0	0	295	295	0	0	121	121
九州	福岡				0				0
	佐賀				0				0
	長崎			109	109			109	109
	熊本				0				0
	大分				0				0
	宮崎				0				0
	鹿児島				0				0
	小計	0	0	109	109	0	0	230	230
沖縄	沖縄			77	77			77	77
	合計	47,664	16,248	13,575	77,596	46,331	13,498	12,929	72,988

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

〈近畿地区〉
宿泊校数

(校)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	
北海道	北海道	1					1	1					1
東北	青森						0						0
	岩手						0						0
	宮城						0						0
	秋田						0						0
	山形						0						0
	福島						0						0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関東	茨城						0						0
	栃木		1				1						0
	群馬						0						0
	埼玉						0						0
	千葉	2	15	1	2		20	11	12	1	3		27
	東京	1	13	1			15	1	15	2	2		20
	神奈川	2			1		3	3	2				5
	小計	5	29	2	3	0	39	15	29	3	5	0	52
甲信越	山梨	19	12	9	6		46	10	9	7	3		29
	新潟				1		1				1		1
	長野	70	12	40	10	13	145	69	8	40	9	12	138
	小計	89	24	49	17	13	192	79	17	47	13	12	168
北陸	富山	4	1	1		1	7	3	4	1			8
	石川	3	4	4	1	2	14	10	4	2		1	17
	福井	14	5			5	24	7	2		1	3	13
	小計	21	10	5	1	8	45	20	10	3	1	4	38
東海	岐阜	70	15	2	1	2	90	67	14	2		7	90
	静岡	3		1			4	2		2	1		5
	愛知		10				10	2	12	1	1		16
	三重	3	27	1		4	35		27	1	1	6	35
	小計	76	52	4	1	6	139	71	53	6	3	13	146
近畿	滋賀	8	30		1	10	49	1	9		1	3	14
	京都	5	8				13	3	6			1	10
	大阪	2	8	3	1	1	15	6	16	8	5	1	36
	兵庫	12	3	2	3	8	28	9	2	6	12	6	35
	奈良		8				8		1				1
	和歌山	3	4	3	10	2	22	2	2	2	5	2	13
	小計	30	61	8	15	21	135	21	36	16	23	13	109
中国	鳥取	12				2	14	12				1	13
	島根	2		1		1	4			2		1	3
	岡山	8	4	6	1	7	26	7	5	16	3	2	33
	広島	37	10	32	11		90	12	2	10			24
	山口	3	1				4	1	2				3
	小計	62	15	39	12	10	138	32	9	28	3	4	76
四国	徳島	14	2	4	5	4	29	16		5		4	25
	香川	1	5	4	3	5	18	15	6	4	1	7	33
	愛媛	11	5	1	1	3	21	18	7	1	1		27
	高知	13	7	2		5	27	13	4	2		5	24
	小計	39	19	11	9	17	95	62	17	12	2	16	109
九州	福岡		3				3		7	1			8
	佐賀	3	3	1			7	6	7	2		1	16
	長崎	57	87	31	2	2	179	54	80	29	2	1	166
	熊本	4	2	1			7	2	2	1			5
	大分		1	2	1		4		1	2			3
	宮崎	1					1						0
	鹿児島	1	9				10	4	9				13
	小計	66	105	35	3	2	211	66	106	35	2	2	211
沖縄	沖縄	46	14	9	2	6	77	45	14	9	2	6	76
	合計	369	224	127	60	81	1,072	346	185	124	52	68	986

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

宿泊人数

(人)

方面	府県名 宿泊 都道府県	一泊目					一泊目 合計	二泊目					二泊目 合計	
		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良		大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良		
北海道	北海道	113					113	113						113
東北	青森						0							0
	岩手						0							0
	宮城						0							0
	秋田						0							0
	山形						0							0
	福島						0							0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関東	茨城						0							0
	栃木		118				118							0
	群馬						0							0
	埼玉						0							0
	千葉	357	1,692	85	110		2,244	1,976	1,007	85	209			3,277
	東京	27	1,099	23			1,149	27	1,328	73	211			1,639
	神奈川	352			120		472	310	172				482	
	小計	736	2,909	108	230	0	3,983	2,313	2,507	158	420	0	5,398	
甲信越	山梨	3,102	1,480	1,358	785		6,725	1,479	1,311	1,089	526			4,405
	新潟				79		79				79			79
	長野	11,088	1,772	6,058	1,747	1,715	22,380	11,041	1,290	6,058	1,596	1,676		21,661
	小計	14,190	3,252	7,416	2,611	1,715	29,184	12,520	2,601	7,147	2,201	1,676		26,145
北陸	富山	478	63	73		127	741	450	431	73				954
	石川	542	735	225	113	256	1,871	1,433	832	65		40		2,370
	福井	1,724	814			493	3,031	834	307		113	214		1,468
	小計	2,744	1,612	298	113	876	5,643	2,717	1,570	138	113	254		4,792
東海	岐阜	9,984	2,336	217	335	137	13,009	9,528	2,161	160		611		12,460
	静岡	345		50			395	391		269	69			729
	愛知		1,333				1,333	222	1,674	67	151			2,114
	三重	310	2,941	67		404	3,722		2,631	93	194	387		3,305
	小計	10,639	6,610	334	335	541	18,459	10,141	6,466	589	414	998		18,608
近畿	滋賀	1,088	4,593		232	997	6,910	257	1,470		232	411		2,370
	京都	1,034	791				1,825	527	724			75		1,326
	大阪	507	757	40	107	75	1,486	864	1,968	583	332	127		3,874
	兵庫	1,703	229	41	275	608	2,856	1,058	311	307	1,064	307		3,047
	奈良		624				624		34					34
	和歌山	521	568	307	1,438	168	3,002	369	213	283	797	282		1,944
	小計	4,853	7,562	388	2,052	1,848	16,703	3,075	4,720	1,173	2,425	1,202		12,595
中国	鳥取	1,736				153	1,889	1,819				134		1,953
	島根	284		88		9	381			272		9		281
	岡山	1,621	523	647	69	759	3,619	1,097	970	1,637	257	163		4,124
	広島	4,652	1,188	3,118	1,232		10,190	1,378	145	1,036				2,559
	山口	328	183				511	42	271					313
	小計	8,621	1,894	3,853	1,301	921	16,590	4,336	1,386	2,945	257	306		9,230
四国	徳島	1,176	287	124	360	288	2,235	1,265		330		431		2,026
	香川	155	566	288	193	412	1,614	2,335	701	114	54	727		3,931
	愛媛	1,353	973	136	140	406	3,008	2,389	970	107	210			3,676
	高知	1,552	900	224		590	3,266	1,843	437	149		503		2,932
	小計	4,236	2,726	772	693	1,696	10,123	7,832	2,108	700	264	1,661		12,565
九州	福岡		426				426		1,172	81				1,253
	佐賀	454	509	164			1,127	1,122	1,151	427		124		2,824
	長崎	337	284	194			815	7,485	9,388	2,993	187	211		20,264
	熊本		85	150	210		445	149	273	194				616
	大分	8,153	10,677	3,337	187	335	22,689		85	150				235
	宮崎	189					189							0
	鹿児島	178	1,406				1,584	555	1,406					1,961
	小計	9,311	13,387	3,845	397	335	27,275	9,311	13,475	3,845	187	335		27,153
沖縄	沖縄	5,878	1,595	1,007	384	542	9,406	5,798	1,595	1,007	384	542		9,326
	合計	52,010	28,160	14,176	7,719	8,139	137,479	48,845	22,953	13,857	6,478	6,639		125,925

※ 1泊2日実施の学校があるため1泊目と2泊目の合計数は異なる

⑦生徒一人あたりの方面別旅行費用平均額 ※2泊3日実施校を基準として算出した
(円)

地区 旅行方面	関東	東海	近畿
北海道	63,348		73,677
東北	53,340	71,810	
関東	50,491	60,419	63,827
甲信越	51,655	57,081	54,719
北陸	62,198	53,597	53,364
東海	64,290	56,202	53,622
近畿	69,052	61,128	58,877
中国	71,624	64,857	57,521
四国		58,330	55,421
九州	152,341	69,737	62,481
沖縄		76,907	66,341
総平均額	67,628	59,838	58,232

⑧生徒一人あたりの旅行費用分布(校数と割合) ※2泊3日実施校を基準として算出した
(校・%)

旅行費用(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
30,000未満				0	0.0%
30,000～				0	0.0%
35,000～	4	1	2	7	0.2%
40,000～	12	8	26	46	1.6%
45,000～	37	41	135	213	7.6%
50,000～	50	80	169	299	10.6%
55,000～	143	167	278	588	20.9%
60,000～	227	152	176	555	19.7%
65,000～	252	69	126	447	15.9%
70,000～	182	35	45	262	9.3%
75,000～	192	11	14	217	7.7%
80,000～	97	6	4	107	3.8%
85,000～	31	2	4	37	1.3%
未回答	24	12	1	37	1.3%
合計校数	1,251	584	980	2,815	100.0%

⑨生徒一人あたりの交通費(貸切バス代除く)分布(校数と割合)
(校・%)

交通費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	84	270	1	355	11.8%
5,000～	14	64	1	79	2.6%
10,000～	136	106	81	323	10.8%
15,000～	195	61	352	608	20.2%
20,000～	261	25	178	464	15.4%
25,000～	239	6	118	363	12.1%
30,000～	124	3	129	256	8.5%
35,000～	51		120	171	5.7%
40,000～	17		70	87	2.9%
45,000～	7		16	23	0.8%
50,000～	4	1	5	10	0.3%
未回答	172	91	2	265	8.8%
合計校数	1,304	627	1,073	3,004	100.0%

※近畿地区のみバス代込の交通費

総平均額(円)	22,300	7,621	21,032
---------	--------	-------	--------

⑩生徒一人あたりの貸切バス代分布(校数と割合)

(校・%)

貸切バス代(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	84	22	—	106	5.5%
5,000～	14	133	—	147	7.6%
10,000～	136	304	—	440	22.8%
15,000～	195	92	—	287	14.9%
20,000～	261	19	—	280	14.5%
25,000～	239	4	—	243	12.6%
30,000～	124	3	—	127	6.6%
35,000～	51	1	—	52	2.7%
40,000～	17		—	17	0.9%
45,000～	7	1	—	8	0.4%
50,000～	4	1	—	5	0.3%
未回答	172	47	—	219	11.3%
合計校数	1,304	627	—	1,931	100.0%

※近畿地区は上記9に含まれる

総平均額(円)	8,878	12,430
---------	-------	--------

⑪生徒一人あたりの宿泊費分布(校数と割合)

(校・%)

宿泊費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
5,000未満	1		1	2	0.1%
5,000～	8		7	15	0.5%
10,000～	21	10	37	68	2.4%
15,000～	282	125	380	787	28.0%
20,000～	705	277	377	1,359	48.3%
25,000～	155	116	158	429	15.2%
30,000～	17	24	17	58	2.1%
35,000～	1	1	1	3	0.1%
40,000～	1	1		2	0.1%
45,000～	2		1	3	0.1%
50,000～	3			3	0.1%
未回答	55	30	1	86	3.1%
合計校数	1,251	584	980	2,815	100.0%

総平均額(円)	21,957	22,636	21,074
---------	--------	--------	--------

⑫生徒一人あたりの体験費分布(校数と割合)

(校・%)

体験費(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
2,000未満	490	48	50	588	20.9%
2,000～	309	77	106	492	17.5%
4,000～	97	134	183	414	14.7%
6,000～	24	109	135	268	9.5%
8,000～	28	75	149	252	9.0%
10,000～	16	48	141	205	7.3%
12,000～	13	15	99	127	4.5%
14,000～	2	14	77	93	3.3%
16,000～	3	8	25	36	1.3%
18,000～	2	5	9	16	0.6%
20,000～	1	1	5	7	0.2%
未回答	266	50	1	317	11.3%
合計校数	1,251	584	980	2,815	100.0%

※近畿地区は入場料含む

総平均額(円)	2,634	6,591	8,433
---------	-------	-------	-------

⑬生徒一人あたりの保険料分布(校数と割合)

(校・%)

保険料(円)	関東	東海	近畿	合計	割合
500円未満	163	294	403	860	28.6%
500～	174	109	252	535	17.8%
1,000～	230	53	164	447	14.9%
1,500～	217	78	138	433	14.4%
2,000～	177	29	69	275	9.2%
2,500～	137	7	28	172	5.7%
3,000～	38	4	18	60	2.0%
未回答	168	53	1	222	7.4%
合計校数	1,304	627	1,073	3,004	100.0%

総平均額(円)	1,559	795	957
---------	-------	-----	-----

⑭小遣い上限 平均額

(円)

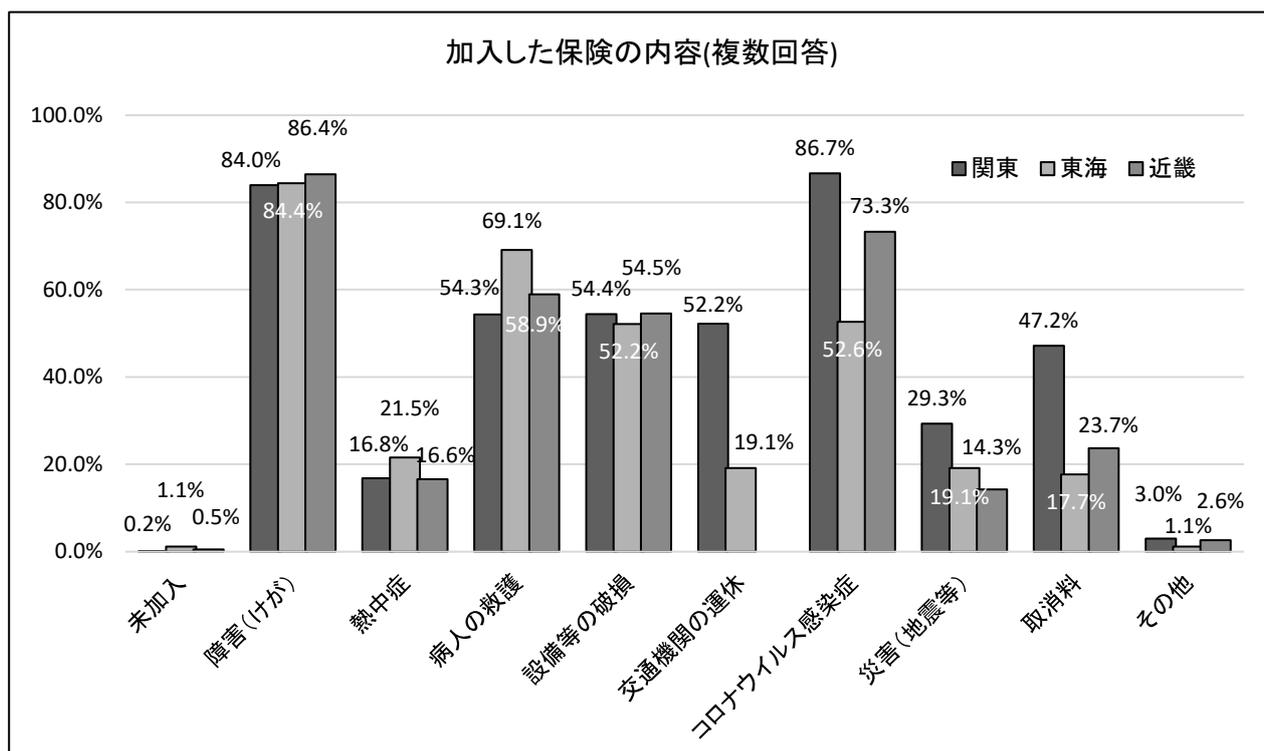
年度	関東	東海	近畿
2020(令和2)年	12,154	7,916	7,478
2021(令和3)年	10,582	10,010	9,855
2022(令和4)年	13,551	12,327	9,308

⑮加入した保険の内容(複数回答)

(校)

内容	関東	東海	近畿	合計
未加入	2	7	5	14
障害(けが)	1,095	529	927	2,551
熱中症	219	135	178	532
病人の救護	708	433	632	1,773
設備等の破損	709	327	585	1,621
交通機関の運休	681	120	-	801
コロナウイルス感染症	1,130	330	786	2,246
災害(地震等)	382	120	153	655
取消料	615	111	254	980
その他	39	7	28	74

その他：学校旅行総合保険・延泊等



⑩旅行方面別費用内訳平均額

〈関東地区〉

(円)

費用項目 旅行方面	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
北海道	18,575	24,690	6,837		2,285
東北	21,679	4,487	14,675	3,894	1,187
関東	23,066	0	13,193	3,364	1,408
甲信越	20,882	3,658	12,689	6,047	979
北陸	21,970	16,970	10,777	3,026	1,347
東海	25,048	13,193	11,149	2,910	1,523
近畿	22,005	23,872	8,305	2,400	1,622
中国	21,675	30,439	5,741	1,333	1,099
四国					
九州	22,330	47,464	50,874	0	4,005
沖縄					

〈東海地区〉

(円)

費用項目 旅行方面	宿泊費	交通費 (バス代除)	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
北海道					
東北	19,250	27,240	9,270	5,071	616
関東	20,764	10,505	11,017	7,019	791
甲信越	23,324	2,915	13,618	6,958	797
北陸	26,734	2,877	13,447	4,045	497
東海	24,784	2,451	13,183	6,668	811
近畿	23,792	5,283	13,898	6,896	898
中国	24,281	12,683	12,426	3,958	872
四国	23,980	2,641	15,424	4,797	1,174
九州	22,000		8,180	0	196
沖縄	18,675	28,580	17,242	4,400	674

〈近畿地区〉

(円)

費用項目 旅行方面	宿泊費	交通費	貸切 バス代	体験 活動費	保険料
北海道	22,990	46,685	-	781	281
東北					
関東	21,653	26,868	-	7,018	934
甲信越	18,988	17,066	-	11,735	869
北陸	23,396	14,237	-	8,255	1,230
東海	22,021	13,555	-	10,617	780
近畿	24,873	14,580	-	10,041	1,074
中国	22,375	18,626	-	7,798	904
四国	22,398	14,265	-	10,944	904
九州	20,229	30,303	-	4,536	1,052
沖縄	17,180	37,919	-	4,495	1,314

※貸切バス代は交通費に含まれる

⑰不参加生徒について(複数回答)

(校・人・%)

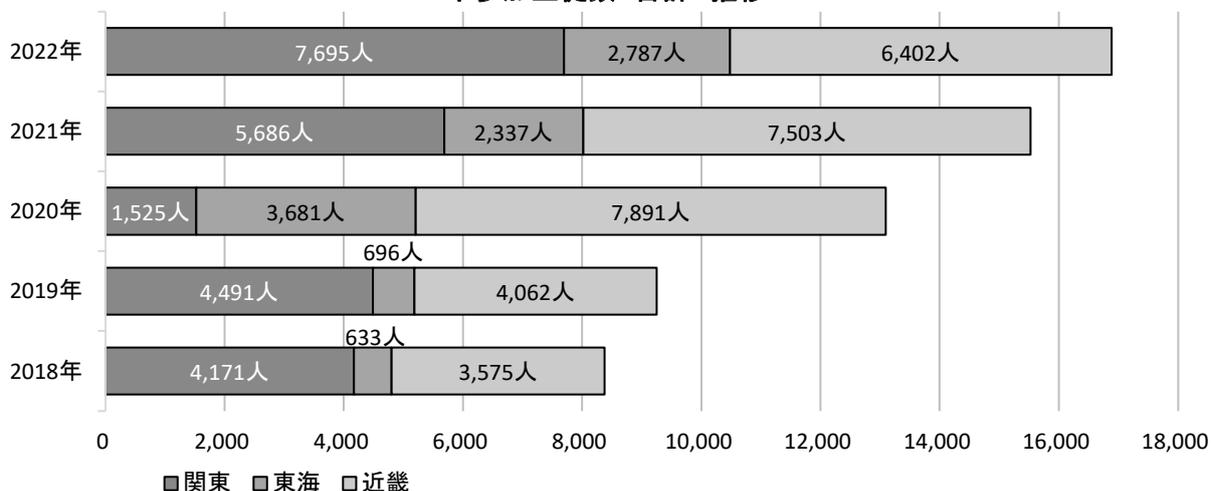
	関東		東海		近畿		合計	割合
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
不参加生徒 あり	1,131	7,695	498	2,787	959	6,402	2,588	16,884
集計対象校数比	86.7%		79.4%		89.4%		86.2%	

(校・人)

(不参加理由別内訳)	関東		東海		近畿		合計
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	人数
保護者判断	432	1,306	208	928	129	246	2,480
経済的理由	103	187	47	108	32	65	360
不登校	955	4,817	454	1,972	863	4,598	11,387
疾病	378	658			354	721	1,379
部活動	26	51			25	35	86
個人活動	73	97			46	64	161
その他	193	351			314	380	731

※内訳不明・理由重複があるため、校数・人数とも総数とは合致しない

不参加生徒数 合計 推移



○2020年度についてはコロナ禍により修学旅行の中止が最も多発した年度でもあり、あくまで参考数値の域を出ないが、不参加生徒数はコロナ禍発生以来、増加が続いている。特にコロナ禍以前(2019年度)との比較では、7,635名増加となっており、コロナが与えた影響は計り知れない。

○経済的理由による不参加生徒数もやはり増加傾向であるが、不登校を理由とする不参加生徒数の増加は更に顕著であり、コロナ禍前(2019年度)と比較すると4,414名もの増加である。コロナの影響による学校生活や家庭状況の大きな変化が原因であろう。

○保護者判断を理由とする不参加生徒数については、コロナ禍の影響をまともに受けた2020年度から調査数値を取り始めたが、本年度まで減少傾向が続いている。

○コロナの感染状況を懸念した保護者の判断等が大きく影響したものの、年を追うごとにあらゆる面での感染防止対策が進化を続けていること、加えて新型コロナウイルスに対する理解が深まったことに加え、大きな打撃を受けた学校生活の中で、「修学旅行という貴重な体験、教育活動をなんとか経験、実践させたい」という学校や保護者の願いが高まった結果であると推察する。

(3) これからの修学旅行について

①これからの修学旅行の実施にあたって検討が必要と考えていること

(校)

内 容	関東	東海	近畿	合計
現状の実施方面、期間で実施	884	229	419	1,532
当面は現状のままだが検討は必要	327	231	339	897
既に検討を始めている	93	167	283	543

②検討の内容(複数回答)

(校)

内 容	関東	東海	近畿	合計
実施期間	46	63	68	177
実施時期	232	128	100	460
実施方面	239	287	546	1,072
実施学年	20	6	8	34
実施内容	163	225	286	674
指導計画・指導時間	62	7	58	127
その他	18	52	17	87

③修学旅行の活動内容について知りたい情報(3つまで複数回答)

(校)

内 容	関東	東海	近畿	合計
SDG s に関する情報	550	329	321	1,200
平和学習に関する情報	233	159	635	1,027
環境学習に関する情報	189	53	137	379
防災学習に関する情報	93	111	93	297
我が国の歴史や文化、伝統に関する情報	1,084	198	258	1,540
異文化理解に関する情報	236	77	113	426
体験活動に関する情報	547	285	735	1,567
職場体験可能な企業や施設に関する情報	132	314	125	571
ICT活用に関する情報	189	51	41	281
その他	8	14	9	31

その他 社会貢献活動
 効果的な地域・名称
 復興支援、まちづくり
 衛生安全に配慮した活動の情報
 コロナ等感染症下でも行える活動等について
 安全対策・学びを深める多様な視点
 キャリア学習
 人権学習について
 生徒が地元の情報を発信できる場所・施設
 事前学習の方法、方面変更に対応できる1年次からの体系的な学習実践例
 バリアフリーに関する情報
 大学との連携

(4) 2021(令和3)年度の修学旅行について

(校)

	関東	東海	近畿	合計
実施(予定通り・変更含む)	1,003	598	966	2,567
2022(令和4)年度に延期	-	7	-	7
中止	294	10	52	356
当初から実施予定なし	7	2	5	14

〈関東地区〉

(校)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
当初の予定通り実施	11	6	3	52	14	86
時期・方面等を変更して実施	175	140	139	206	257	917
中止	30	3	16	153	92	294
当初から実施予定なし		3		2	2	7

〈東海地区〉

(校)

	愛知	岐阜	三重	合計
実施(予定通り・変更含む)	294	166	138	598
2022(令和4)年度に延期		1	6	7
中止	2	7	1	10
当初から実施予定なし		2		2

〈近畿地区〉

(校)

	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	合計
当初の予定通り実施	19	43	13	2	3	80
時期・方面等を変更して実施	350	273	136	53	74	886
中止	19	6	3	21	3	52
当初から実施予定なし			3	1	1	5

○昨年度(2021年度)調査については、調査時期を2021年11月～2022年2月に設定した。そのため、コロナの影響により、当年度2月～3月に実施を延期した学校が多数発生したにも拘らず、その実態を最終の調査結果に反映することが不可能となった。

○コロナ禍の影響を出来得る限り正確に読み取り、その結果を今後の調査研究に繋げていく観点から、昨年度(2021年度)の最終結果を再調査することとした。

(5) 2022(令和4)年度の修学旅行について(主な意見を抜粋)

《関東地区》

①実施上の成果

「2年ぶりに実施ができ、怪我や病気、コロナに感染する生徒・職員もなく無事に3日間を過ごすことができ、子供たちの笑顔がとても印象に残る修学旅行となった。昨年度の卒業生には、林間学校・修学旅行と宿泊なしの実施となり、本当に申し訳ない気持ちで一杯である。今後は、できる形を模索しながら、どんな壁があっても対策を練り、工夫してできる限り多感な中学時代に様々な経験をさせていきたいと改めて感じている」

「3年ぶりに2泊3日の関西方面への修学旅行を計画し、直前まで実施できるか心配でしたが、コロナ対策をしっかり行い、体調不良者が出ることもなく、全日程を無事こなすことができました。関西方面の良さを改めて実感し、生徒も教員も学びの多い充実した修学旅行になりました」

「3年ぶりの奈良・京都方面への2泊3日の修学旅行でしたが、改めて宿泊的行事の教育的意義の大きさを感じました。新幹線やバス、タクシーなどの交通機関をはじめ、見学場所や宿泊先での感染症対策は安心できるものでした」

その他「実施できてよかった、ほっとした」「旅行支援を活用して予定よりも安価に実施できた」「コロナ対策と保険で悩んだが、市内の他校と連携を図り同一歩調で実施できた」等の肯定的評価が多数あった。

一方で、実施に当たっては「実施判断は校長とされたので内心穏やかではなかった」「実施時期や方面、コロナ対応に苦労した」「実施の合意形成(教員・保護者)に時間がかかった」「感染症対策とともに熱中症対策にも腐心した」という苦労や、現地で「新幹線車内や現地での食事等で生徒に制約があったのは残念」「いろいろな場面での判断は難しい」という指摘も見られた。

②コロナ対応

「感染状況次第で実施も危ぶまれたが、実施できてよかった」

「実施前・実施中・実施後とも感染症の心配が絶えず付きまわっていましたが、何事もなく無事に終えることができました」

「目的地で感染した場合は保護者に迎えに来てもらうこと、コロナ保険に加入することを条件に実施に踏み切りました」

「予防対策が各所に設けられ、安心、安全な旅行ができた」

どの学校もコロナ対策には非常に苦労して実施している。そのため、「保護者との連携(現地での治療か、迎えに来るか)が難しい」「感染症対策が最重要課題だった」という指摘が多く、保険に加入していても「濃厚接触者ではその後コロナが判明しても保険外となるなど、約款をよく読み込む必要と保険の在り方について保険会社と確認が必要であった」。

さらに、「コロナに関する保険などにより参加費が多額になってしまった」「キャンセル代金を保障する保険に追加で加入しました」など例年の必要費用を超える新たな負担が生じている。

③費用の高騰

「(公共交通機関以外の) 貸切バスを使ったり、関連の保険に加入したりしたので、例年と比較して金額が高くなっている」

「感染症対策も関連し費用がかかってしまった。いずれ、経済的負担が大きいため不参加という家庭も出てくるのではと懸念している。対策を考える必要がある」

「年々、交通費や宿泊費が上昇し、旅行代金が高額化していることを憂慮している」

「とにかく費用がかかり過ぎる。ここ数年での費用高騰は驚くべき水準である。また、ベテラン教員退職により若い教員が増え、業者の言いなりで、様々な費用を要求され支払っている」

コロナ関連だけでなく、修学旅行費用の高騰は今後重大な課題となるであろう。「今回、費用が出せずに結局行くことができない生徒がいたことは残念である」という恐れていた事態がやはり起こってしまった。

④今後の課題・要望

「費用が高騰している分、経済的に参加が厳しくなってくる生徒が今後増えてくると考える。中学校生活の最大行事を全員で参加してもらうために、様々な部分で修学旅行特別価格のような形で提供してもらえると助かります」

「政府が修学旅行を推奨しているのだから、コロナ関連の保険（キャンセル費用、一時金特約付き）については公費で負担してほしい」

「政府の旅行支援事業の対象となったため、予算面で保護者の負担軽減となった。修学旅行については全ての学校が対象となるようにしていただきたい」

「実質 60 時間以上の教職員の連続勤務の実態を保護者に伝えているが、結果として求められるのは 100 点つまり”無事に帰宅”であり、何か起こればすべて 0 点となる。このプレッシャーを教職員（特に若年層）がいつまで耐えられるかは未知数であると思う。いろいろな行事を目的に沿った形で内容を精選しているなか、修学旅行は 3 年ぶりの実施で保護者も喜んではいるが、今後は例外なく見直しが必要と感じる」

様々な困難や課題を乗り越えて実施された修学旅行は、「宿泊行事の意義の大きさをあらためて感じることができました」という肯定的評価が大きい一方で「今後の修学旅行については、方法、内容について大いに検討が必要であると感じた」「修学旅行そのものの意義を見直さなければならないと考える」という意見もあり、今後の修学旅行の在り方についてはさらに議論を深めていかななくてはならないであろう。

《東海地区》

①実施上の成果

「2年生時に生徒が決めた修学旅行先、予算も77000円と当初(1年生時東京方面)積立額より2万円アップ、それでも保護者全員一致で了承した。テーマもキャリア学習から平和学習へ、生徒が選んだ。事前学習、当日の研修、事後の学習共に主体的に学ぶ姿がいい」

「3年ぶりに東京方面に行くことができ、生徒も意欲的に参加できたように思う。参加生徒・職員全員が無事に帰ってくることができ、本当にほっとした」

「6月実施で、本来の形に戻ることができる丁度良い時期だったので、計画通り実施できて、子供も保護者も満足で、学校全体に活気が出た」

「これまでコロナでできなかったことができるようになっただけで、コロナ前は当たり前だったことなのに生徒は達成感で一杯だった。こんな時代だからこそ改めて当たり前のことのありがたさを再認識させられた」

実施に至るまでの判断を各校長先生は悩み抜いている。「出発する当日まで、感染者等が出ないか不安のある中での実施だった」「感染者数が日々大幅に増加している一方で行動規制はないという状況の中、修学旅行の実施・延期などの判断をすることは特に難しい」「キャンセル料発生のぎりぎりまで検討を重ねる必要があった」等、様々な困難な状況を乗り越えての実施であった。

しかし、「改めて学校行事として中学生にとって大切な行事であることを学校として認識した」ことは重要な指摘である。

②コロナ対応

「3年ぶりに当初計画の日程で実施することができてよかった。感染症対策にはバス会社も旅館も細かい配慮があり、安心して過ごすことができた」

「コロナ過でも実施できたことが生徒にとって良い経験になった」

「受け入れ先の旅館やペンションのご理解とご助力により実施できました。生徒や保護者、教員も喜んでます」

「コロナ感染対策もあるが、台風等による非常時災害時の対応についても頭を悩ませた。旅行期間中の生徒の家族の陽性判明による対応が難しいものであった。抗原検査キットやN95マスクを準備し、リスクについては保護者にあらかじめお知らせの文書で理解いただいた」

「感染予防に最大限配慮し、安全・安心な修学旅行を実施することができた。今後も、感染症予防や熱中症対策に配慮しながら、安全・安心な修学旅行が実施できるようにしていきたい」

感染の波や医学的対応にもめどが立ち始めたこともあったが、前年度に比べ実施を前提にした対応が幅広く取られるようになってきた。しかし、「何とか実施しましたが、一つの賭けでした。何かあったら大変なことになる可能性もありました。次年度は安全策を取ります」「生徒に何かあった場合に保護者に自力で迎えに来ていただくことを前提に実施方面を検討していく必要に迫られる」という課題を残している。

また、「修学旅行の中止・延期にかかるキャンセル料の問題は毎年のことである。当市では、市負担の方向で動いていただいているのでありがたい」という行政の支援も今後は欠かせないであろう。

③費用の高騰

「コロナ対応で新幹線以外の移動を全て貸切バスにし、食事を全て旅行代金に含めたので、旅行費用が高額になった」

「コロナ感染症に関連してキャンセルせざるを得ない状況になった場合の対応に非常に気を使った。様々な保険に加入することになり、費用の増額となった」

「感染症対策で旅行日程をリスクの少ないものに変更するなど、苦慮した。その分、費用が増加し、また、本来のねらいに迫ることが難しかった」

「旅行の延期の場合も企画料やキャンセル料がかかってくるため、大変心配しながらの事前準備となった」

感染症対策や物価高騰の影響は旅行費用の増額につながり、「物価高の影響を受けて、修学旅行費用が高くなり、保護者の負担が大きくなりました」「キャンセルに伴う取り消し料金が全額保護者負担であるため、今後そうしたリスクなく修学旅行が実施できるようになることを切に願う」という切実な声が随所に見られた。

今後は、公的支援を強く要望すると同時に、「バス代の高騰で費用が上がっている。行先・交通手段を含め検討しなければならない時期に来ていると思う」。

④今後の課題・展望

「団体での観光旅行に陥っていて、学校が企画・運営・引率する必要性があまり感じられなくなっている」

「当初の計画通り実施しましたが、感染拡大に備え、事前予約が必要な施設訪問は極力避けたり、例年行っていた企業訪問の取りやめたりと、準備の簡素化を行いました」

「思い出旅行と名を変えて、宿泊ができない生徒のために10月に日帰り研修を、また、11月に1泊2日で広島をやめて大阪方面のみの研修を行った」

「この学年の生徒たちは、全国臨時休校の時に小学校を卒業し、中学校に入学してきた。今日に至るまで学校行事の多くが、変更・縮小・取り止めとなり、今回は2泊3日で実施でき、生徒も保護者も喜んでいたが、1泊2日の経験もないため、仲間とどのように過ごしてよいか戸惑う生徒も少なからずいた」

コロナ禍による様々な断裂は今後の学校教育の大きな課題となるであろう。その一方では、少人数の僻地校ならではの課題がある。「2、3年生合同で修学旅行を実施する計画であったが、コロナ禍において行先を変更する際に2年生の生徒・保護者から、1年待って予定していた行先で修学旅行に行きたい、との要望が強く出される。それを受け、数年前同様、本年度も3年生の単学年での実施に変更し、かつ、今後も単学年での実施とすることに変更した。僻地複式校のため、参加人数が少なくなるとどうしてもさらに旅行代金が高額になる（生徒分は全額補助あり）ことが心配される」。情報共有しておきたいところである。

また、東海地区の特色として、東京ディズニーランドが訪問地となることが多く、そのため「東京ディズニーランドオフィシャルホテル連泊で計画していたが、抽選に漏れたため東京都内1泊、山梨1泊に急遽変更することになった。修学旅行ができたことは嬉しいが、ディズニーを楽しみにしていた生徒は多く、残念であった」「抽選の結果を知る時期には再考をお願いしたい」という声も目立った。

《近畿地区》

①実施上の成果

「中学校時代の大切な思い出作りという点は変わらないでしょう。あとは、現地の人々とのふれあいを経験させてあげたいところです。今回、民泊が実施できず残念でした。しかし、去年も一昨年も実施できなかったことを思えば良かったというべきでしょう。帰ってからコロナ感染者が続出し、学年閉鎖となりましたが、保護者の苦情は（聞こえてくる範囲では）一切なく、良く実施して下さい有難うございますというものでした。悩みながらの実施でしたが、やって良かったと思っています」

「1泊目のホテルでは、料理も豪華で生徒たちも大満足であった。工場見学でのSDGsの話も、楽しい修学旅行の中でピリッとした部分として大変良かった」

「3日のうち残念ながら2日が雨天であったが、生徒たちが宿泊付きの修学旅行に3年ぶりに行けたことに大変喜んでくれ、どのイベントも楽しんでくれて助かった。保護者からも修学旅行に連れていけたことで、一切のクレームがなかった。事前に保護者には同意書も取り、万全を期した」

「コロナ禍において、旅行関係業者は大変な思いをしておられることと推察します。その中でも修学旅行を受け入れていただき、また、快適な旅行となるよう配慮いただいたことに感謝いたします。今後コロナ禍の規制が撤廃され、従前の修学旅行が実施できることを願っています」

様々な課題を克服して実施された修学旅行は、従前のものとは違う内容とはなったが、それなりの成果があった。この経験を生かして、「引き続き、大切な行事として、可能な形態を探りながら、実施の方向で考えていく」「学びの機会として、さらに充実させる」「子どもたちの学びにつながる旅行としていきたい」「コロナ禍を経験して、修学旅行の意味を考える機会になった。大切な行事であると再認識した」と肯定的にとらえる指摘が目立った。

しかし、「最近家族旅行でたくさんの地域へ行っているの、修学旅行でしか行けない所（見学地や体験学習）の検討をしなければいけない」「より探求的な体験活動を重視する修学旅行へとシフトしていくべき」という訪問地や学習内容の改善の必要性や、さらには、「そもそも今の時代、必要な行事なのかどうか？」と修学旅行の本質を問う意見もあった。

②コロナ対応

「学年全体での交流会や集会等を極力避けて、学級単位の取り組みを主体とした。宿泊についても、ペンションに分宿という形をとった。結果、学級単位での親睦が深まり、感染対策と同時に学級単位での結束が深まることにつながった」

「1泊2日の春の旅行と、日帰りの秋とに分けて実施した」

「保護者が緊急時に対応できやすいように自家用車で迎えに来られる距離を設定。公共交通機関ではなく、往路・復路共に貸し切りバスを利用した」

「学年で取り組むレクレーションのために、会館ホールを借り切ってクラスごとのステージ発表を行った」

「シンプルズベスト（指示は短く簡潔に）を常に意識した取り組みをしました」

「参加生徒と教職員を対象に、出発1週間前にPCR検査を実施」

訪問地では「どの施設も感染症対策をしっかりとされていて、利用しやすかった」「学級単位での分宿であったが、どの施設でも様々に工夫していただき、感謝している」という記述も多く、社会全体でのコロナ禍に対する対応がとられていた。

しかし、実施の時期、方面、内容等々の検討から、具体的な感染防止対策、コロナ保険に至るまで「コロナ禍での修学旅行を、保護者や地域の方々にどう理解していただくか、感染防止対策をどこまでやればよいのか、大変苦慮した」「不測の事態に備えて、校長が自家用車で参加した」等々、校長職の責任の重さがひしひしと伝わってくる記述が胸を打つ。

③費用の高騰

「それぞれの費用が高騰している中で、現在約6万円の予算で計画しているが現在と同じ方面、行程では無理がある。また、観光が中心になっている。今後は内容、方面等を検討していきたい」

「交通費、宿泊費等があまりにも高騰し、中学生の2泊3日の旅行としては保護者の負担が大きすぎる」

「もう少し安価なホテルがあればと願う。教員の旅規定上限の金額を超えた料金がかかっている」

「今回宿泊したホテルでは大広間を借りる際に別途会場費として多額の請求（一人当たり4195円）があった。このような請求はやめていただきたい」

「東京都内のホテルの食事の値段が高い。量は多いが、冷たい」

「ラフティングは良い経験になったが、高額であり、検討を要す」

「費用がかさんでくることへの保護者負担をどう軽減していくか」

諸物価の高騰は修学旅行も直撃している。「市の修学旅行助成金（2000円）が支給されている。そういった情報についても提供していただけるとありがたい。今回は本校教員が把握し申し出たため適用されたが、可能なら受け入れ施設や旅行業者からの情報提供を望む」という行政からの補助金を有効活用することや、「小中学校（義務教育）の修学旅行については、旅行業界や行政で家庭の負担が少なくなるような制度を確立してほしい」という公的制度を創設することも重要である。

さらに、「引率教員の負担軽減（拘束時間、食費の負担等）をどのようにしていくか」「規模を小さくしてもよいのではないか」という視点から「教員の働き方改革の一つとして、修学旅行の1泊案を全市で統一して実施してもらいたい」という提案もあった。

④今後の課題・展望

「各学校の生徒の実態や目指す姿と関連させながら、無理のない範囲で方面や内容を決定していくという現状でよいと思います」

「学校が行先を決めて集団で行くのではなく、生徒たちが探求したいことについて学べるようなものになれば理想だと思いますが、なかなか難しいのが現実だと思います」

「生徒の主体的な取り組みを大切にできるような活動内容にしていきたい。計画立案、現地での活動、集合場所の検討など」

「戦争のリスクが高まってきたので、平和学習を再度見つめ直す必要があると思います」

「単なる旅行ではなく、修学旅行でしかできない貴重な体験をどのようにすれば費用を抑えながらプログラムに取り入れることができるか」

「東京は遊びの旅行になってしまっているのが、平和学習や体験学習を取り入れた本来の修学旅行に戻

したい」

「通常の学校教育と連携して、修学旅行で何を学ぶのかを明確にして実施する必要がある」

コロナ禍での実施に苦勞しながらも、修学旅行本来の姿を取り戻したいと願う気持ちが伝わってくる記述がある半面、「今までは修学旅行は行って当然の感があるが、現状のコロナ禍の中、また、教員の働き方改革が言われる中、修学旅行の有無も含めて検討が必要になると思います」「感染症対策のため、従来のような体験型の活動や地元の方々との交流ができず、観光メインになりがちなので、修学旅行の必要性について疑問を感じる」「現在の修学旅行は親、生徒ともテーマパークで楽しみたいというニーズなので、修学旅行そのものがあまり必要ないと感じる」と、今後の修学旅行を再検討すべきとの意見も多くみられる。

そして、「感染症や経済的な問題が大きくなってくると考え、その対応や家庭の負担を軽減できるように中学生の修学旅行であっても、1泊2日を継続するように決定しています。加えて、教員の働き方改革による負担軽減は必須であり、2泊より1泊の方が計画の段階から労力が軽減されると考えています」というように、教員の働き方改革を念頭に置いての視点も踏まえて、「社会情勢や生徒たちの生活の変化、教員の働き方改革など総合的に見て、実施の有無を含めた抜本的な見直しの時期に来ている」との指摘もあった。

教員の働き方改革は喫緊の重要な課題であるが、教員の負担軽減のみを視点にしてはならず、総合的に今後の修学旅行の在り方を検討する必要がある。

3 まとめ

コロナ禍も3年目となり、2022（令和4）年度、この三地区（関東・東海・近畿）の修学旅行の実施状況調査は15年目を迎えた。毎年、回答を寄せてくれる学校数は約3,000校、この学校数は、全国の公立中学校数の約三分の一にあたり、極めて信頼性の高い数値や内容を得ることが出来ているものとする。その背景には、三地区の各府県市町村の中学校長会がアンケートの配布や回収方法の改善を図り、その調査の趣旨を丁寧に説明するなどの取組を積極的且つ地道に継続してきた経緯がある。回収率はここ数年、調査対象校の98%以上を維持して、コロナ禍3年目となる本年度においてもその数値を保っている。

このような多大なご協力に対し、厚く御礼申し上げたい。

こうして得られた調査結果は、現在の修学旅行の状況を知る上でも、また研究活動や将来の修学旅行を展望していく上においても極めて貴重な資料である。と同時に、修学旅行に経済的な理由により参加できない生徒を一人でも減らすために、国庫補助金増額のための要請・陳情活動には欠かせないエビデンス・データとなっている。

また、今回のこのコロナ禍にあっては学校がいかんして修学旅行実施のために努力し、葛藤をしてきたのか、また結果として中止の判断をせざるを得なかったとしても、そこに至るまでにどれほど真摯な取組を続けてきたかという貴重な証言の記録でもある。

学校現場では、一昨年度春の実施はほぼ全面的に延期又は中止となったのに対して、コロナ禍3年目となる本2022（令和4）年度については、感染防止対策のより一層の充実を図り、当初予定通りに修学旅行を実施した学校が格段に増え、中止のやむ無きに至った学校は皆無となった。

これは学校の努力はもちろん、輸送機関、宿泊施設、受入団体・地域、旅行会社等、修学旅行に関わる方々の弛まざる地道な努力の成果である。数波の感染拡大の発生等により、極めて困難な中での逡巡と模索もあったと推察されるが、コロナ禍1年目の一昨年度の結果とは大きく異なるものとなり、コロナ禍前の実施状況にまで回復する傾向が昨年度と比較してもより強まった。

生徒のために、いかに学校が努力を重ね、対策を施し、保護者の理解を得るなど、かなりの困難を抱え、葛藤をしながらも修学旅行の実施を目指してきたかという、数字の向こう側に見えるものにも大きな価値を見出したい。それは間違いなくこれからの修学旅行に大きな示唆を与えてくれることと考える。

三地区の修学旅行委員会の委員や、各府県市町村の中学校長会の皆様にはひとかたならぬお力添えを頂戴した。

あらためて深く感謝を申し上げますとともに、この調査報告書がこれからの修学旅行のさらなる発展・充実のために、少しでもお役に立てれば幸甚である。

2022(令和4)年度調査研究報告

2022(令和4)年度 修学旅行の実施状況並びに
「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について

2023(令和5)年2月

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8

Tel : 03-5275-6651 Fax : 03-5275-6653

E-mai shuryo@h2.dion.ne.jp

URL <http://shugakuryoko.com>